

# 石産協通信

sekisankyo tsuushin

第32号

発行日:  
2014年1月15日  
《隔月15日発行》



一般社団法人  
日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681  
http://www.japan-stone.org/  
企画・編集・発行:広報委員会



## 石産協2014年のテーマ。 それは、 石産協であり続けること。

(社)日本石材産業協会 会長 <sup>い ば かつ ゆ き</sup> 射場一之

**あ**けまして、おめでとうございます。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。  
さて、新しい1年をスタートするにあたっていま一度、「私たち石産協は何のための組織で、何をすべきなのか?」ということについて、みなさんと分かち合っておきたいと思います。

私は、「石材店は人々に愛され、幸せを運ぶ存在でなければならない」と思っています。「石材店は、お墓や石製品を通して『心の豊かさ』や『生きる喜び』を扱っている」と考えています。お施主さまに喜んでいただき、私たちも喜びにあふれてお墓づくりや石工事に携わっていきたく願っています。「石屋さんは、みんな優しい」私は、そう言われる石材業界にしたい。だからこそ、2014年の石産協のテーマは「石産協であり続けること」。

私たちは単なる親睦団体でもなければ、個人的利益を追求する団体ではありません。ましてや圧力団体ではありません。私たち石産協は「石材産業の健全な発展と更なる向上を図ると共に、新たな石文化の創造に努め、もって社会に貢献すること」を目的として活動しています。

理想とは、「たどりつけるもの」ではなく「見つめつづけるべきもの」です。

石産協は、消費者と石材業に携わるすべての人を幸せにするための道具です。困った時に思い出され、用が済めば忘れられる——私は、石産協はそれでいいと考えています。石産協は社会のために存在し、「石文化」を通じて人々を幸せに導くために存在する——それが会長としての私の考え方です。お墓や石工事を通してお客さまの幸せに貢献し、結果として得られる報酬で自分や家族も幸せになる。言い換えれば、自分の力で家族とお客さまを幸せにする——それが石産協の「こころ」だと私は考えています。

私たちはお墓づくりをはじめとする様々な石工事を通して、たくさんの方々にお世話になっています。だからこそ、お墓づくりや石工事を通してお世話になったすべての人に「恩返し」をしまりましょう。そして未来の人に「恩おくり」をしまりましょう。私たちから石材業界へ、そして石材業界から日本中に「お墓参りという習慣のもたらす心の豊かさ」と「身近に石のある暮らしの豊かさ」を拡げてまいりましょう。

末筆となりましたが、今年1年間の会員皆さまのご健勝と社運隆盛を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願いたします。

## お詫び。そして、約束。

**か**つて「JAPAN STONE FAIR」というトレードショーが隔年で開催されてきました。前回開催の2005年以降、新たなフェアの開催に向け、様々な模索を続けてまいりましたが、実現には至りませんでした。会場においても、日比谷公園や代々木公園、東京国際フォーラムなどを開催候補地とし、視察を行ってまいりました。そして、最終的に上野恩賜公園を開催地とし「NIPPON石博」と銘打って2014年3月の開催に向けて準備を進めてまいりました。しかしながら議論を深めた結果、1年間の延期を決めさせていただきました。これまで、2014年3月の開催に向けてご尽力をいただいていた皆さま、そして開催を楽しみにしてくださった会員の皆さまに深くお詫びを申し上げます。なお、なぜ開催地が上野公園なのか。そして実行委員会が石博の向こう側に何を見ているのか、ということについては、また改めてお話ししたいと思います。

連載

# 全国縦断支部紹介

## 愛知県支部



名古屋市




**支部長**  
戸松政洋




[県章]

支部設立	2006年9月
人口	743万人 男:371万人 女:372万人
	65歳以上の人口:152万人
世帯数	299万世帯
人口密度	1,440人/km <sup>2</sup>
総面積	5,165km <sup>2</sup>
なんでもランキング	自動車など輸送機械出荷額:全国第1位 えびせんべい:全国シェア第1位 日本最長幅100m道路(若宮大通/名古屋市)所有


## 兵庫県支部



神戸市



**支部長**  
能島孝志



[府章]

支部設立	2007年6月
人口	557万人 男:267万人 女:289万人
	65歳以上の人口:129万人
世帯数	229万世帯
人口密度	8,396人/km <sup>2</sup>
総面積	1,899km <sup>2</sup>
なんでもランキング	釣り針の生産量:全国第1位 日本一短い国道174号線(187.1m)@神戸市 日本標準時子午線の通る県

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?  
**5歳の娘と一緒にピアノの練習。**
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?  
**神棚と仏壇のお参り。**
- Q.3 くちぐせは?  
**いただきます。**
- Q.4 趣味・好きな言葉・愛読書は?  
**好きな言葉…日々是好日  
愛読書…火の鳥、スラムダンク**
- Q.5 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかず)などを教えてください。  
**ビールとポテトサラダ**
- Q.6 地域の特産物・おススメの一品を紹介して下さい。  
**八丁味噌**
- Q.7 おススメの観光地はどこですか?  
**香嵐溪**
- Q.8 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。  
**教師**
- Q.9 県内の銘石を自慢して下さい。(もしくは有名な石造物)  
**吉祥石、牛岩、小呂といった青石は高級墓石材。  
足助荒目、宇寿石、花沢石などは大きな材料がとれます。**
- Q.10 支部の活動を教えてください。  
**総会をしました。**
- Q.11 部員のユニークな方を紹介してください。(理由も)  
**吉田秀徳さん(声がデカい有言実行)**

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?  
**神社仏閣巡り(若い頃は全く興味がなかったのですが…)**
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?  
**始業前の10分間清掃。特にどこと決めず、その日に思いついた所を掃除、片づけ等をする。**
- Q.3 くちぐせは?  
**口ぐせというより、モットーになりますが、明日できることは今日する。**
- Q.4 趣味・好きな言葉・愛読書は?  
**好きな言葉…お客様第一。その想いで社名を第一石材にいたしました。  
愛読書…山崎豊子さんの作品が全般的に好きです。**
- Q.5 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかず)などを教えてください。  
**芋焼酎のロックとお刺身**
- Q.6 地域の特産物・おススメの一品を紹介して下さい。  
**丹波の黒枝豆**
- Q.7 おススメの観光地はどこですか?  
**海側から見る神戸の夜景**
- Q.8 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。  
**料理人**
- Q.9 県内の銘石を自慢して下さい。(もしくは有名な石造物)  
**やはり何と言っても、神戸市東部で採掘される『本御影石』。  
墓石材の総称でもある「御影石」の由来にもなった石です。**
- Q.10 支部の活動を教えてください。  
**葬儀・仏壇・お墓・永代供養・保険・相続など、幅広い分野にわたっての終活イベントを計画中。(P3に続く)**
- Q.11 支部内のユニークな方を紹介してください。(理由も)  
**平山昭吾さん。彼のブログ「ダイエットしながら食べ歩き墓石屋のオッサンの加齢なるブログ」をご覧ください!**

## 事業案内 2014 1月~3月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの新着情報からご確認いただけます。【会員限定閲覧ページ ID:2013/パスワード:2013】

<p>1月23日(木) <b>第8回 正副会長会議</b> 東京都千代田区</p>	<p>2月19日(水) <b>第3回 常任理事会</b> 東京都千代田区</p>	<p>2月20日(木)・21日(金) <b>お墓DI級取得者研修会</b> 東京都千代田区 1級取得者限定でご案内しております。</p>	<p>2月26日(水) <b>北海道地区全体会議</b> 北海道札幌市 ミニストーンフェア同時開催です。</p>	<p>3月31日(月) <b>お墓ディレクター更新</b> 今年度の更新は認定番号の頭が『03』と『08』の方です。対象者には1月中旬頃必要書類を送付いたしますので期日までに手続きをお願いいたします。</p>
---	--	--	--	--

今号で新入会員の紹介はありません。理事会または常任理事会において入会審査を行っていますので次回は2月19日常任理事会後のお知らせです。



# 支部ニュース:兵庫県 プレスリリースがきっかけで一般消費者から多くの反響がありました。その成功ポイントについて能島支部長にお話を伺いました。

葬儀・埋葬の多様化によって我々石材店への需要も変化しつつあります。終活に興味を持つ消費者向けに、支部内でお墓相談室の開催を協議していた際、前段階として持ち合わせていた柳田邦夫著『先祖の話』を消費者にプレゼントすることを決め、プレスリリースを行ったところ記事は神戸新聞へ掲載され、70名の募集に対し1000名近い応募がありました。掲載時期が8月のお盆前であったので、『先祖の話』無料進呈企画と合致したこと、偶然にも新聞紙面がカラーページであったなど、より読者の目に触れたのだと思います。残念ながら抽選に漏れてしまった方々には、急遽石産協から発行される『石材店に行く前に読む本』と『お墓物語』をプレゼントさせていただきましたが、石材店の仕事やお墓のある大切さ、石産協のPRにもつながったと思います。

広報委員会作成のプレスリリースひな形をもとに今回の企画に添って、新聞社提出用にアレンジし、結果として多くの消費者が興味を抱いていることを改めて認識しました。また、今回の成功もありがたいことですが、ご応募いただいた1000名近くの方々に対し、今後どのようなアプローチを行っていくかが重要と考え、さらに支部内で具体的な計画を協議していくつもりです。



神戸新聞 2013.8.16

## 九州・沖縄地区全体会議 開催 テーマは「九州はひとつ」

2013年11月13日(水)・14日(木)  
ANAクラウンプラザホテル福岡

他地区からの60名を含め約130名の参加となり、総会にも劣らぬ盛大な大会となりました。山野地区長の開会の挨拶に続き、射場会長の熱意のこもる挨拶、各部会・委員会の紹介と活動報告、小島宏允氏の講演と続き、盛りだくさんの内容となりました。射場会長からは、改めて石産協設立の意義や目的を確認でき、参加者も思いを新たにされたものと思います。

更には、九州・沖縄地区の各支部長方が一同に壇上にあがり挨拶する様はまさに「九州はひとつ」を彷彿とさせるようでした。最後に、山野地区長と国松実行委員長、片桐福岡県支部長が山笠の正装である長法被を羽織っての締めが行われ、会の幕を閉じました。今回は、九州・沖縄地区の一体感を強く感じるとともに更なる地区の活躍が期待される大会となったことを報告しておきます。[広報委員会 上野國光]



ビールにも「九州はひとつ」



貫禄たっぷり山野地区長

## 北海道地区全体会議 開催 2014年2月26日(水) ホテルサンルートニュー札幌

昨年より隔年開催となりましたが、皆様方の印象に残り、有形無形に関わらず“実”となるものになるよう、2年分のパワーを凝縮した内容で準備をすすめております。

地区全体会議の講演会には、「中国の政治・経済と日中関係」というテーマのもと、中国から日本に帰化されマスコミ等でお馴染みの石平(せきへい)氏(評論家)をお招きします。業界として中国との関係は今後とも不可欠なものです。改めて中国の政治・経済情勢を認識し、同時に講師の日本観(日本人観)の中から、日本人としてあるべき姿を感じ取ることも必要ではないかと考えます。日本人のもつ精神文化の上に成り立つ墓石の作り手・売り手としての心構えの一助になれば幸いです。

また、交流会の中では地区全体会議の関連事業として、今年で4年目となりました「幸フクロウ運動」の報告会を行います。皆様にも“温かいもの”を感じていただければと思います。今回は関連部会のご協力をいただき、ミニストーンフェアを同時開催する運びとなりました。参加企業様より新しい情報をご提案いただけるということで、直接的に日常の業務に役立つことが多くあると思います。準備委員会のメンバーも全力をあげて有意義な場を提供したいと強く考えています。[北海道地区長 越智孝佳]  
詳細と申込みは北海道支部/田村基道までご連絡ください。  
(TEL:090-9513-6540 eメール:tamurast@yellow.plala.or.jp)



今年の幸フクロウ

## 「NIPPON 石博」開催延期に関するお詫びとご報告

先般、お知らせを送付させていただきましたが、改めて「NIPPON 石博(にっぽんいしはく)」につきまして、お詫びとご報告を申し上げます。  
従前より、ご案内しておりました「NIPPON 石博」ですが、2014年3月8日・9日の開催に向けて準備を進める中で、会場である上野恩賜公園との折衝・調整において、予定していた内容の変更を余儀なくされる部分が出て参りました。実行委員会にて討議した結果、催事内容の取りまとめも含め、イベントを成功に導くためにはさらなる時間を要すると判断し、「NIPPON 石博」の開催を1年後の2015年3月まで延期するという結論に達しました。  
このような状況になったことにつきまして、皆さまにお詫び申し上げます。特に、イベントへの出展など、ご協力をお申し出いただいた方々には、重ねてお詫び申し上げます。  
2015年3月の開催に向け、しっかりとした準備をしていく所存です。ご理解・ご協力のほど、よろしく願いたします。[「NIPPON 石博」実行委員長 二上昌弘]

# お墓ディレクターNEWS 今後の予定

- 第6回更新 締切り期日:2014年3月31日(月)消印  
※2014年1月初旬 対象者に更新資料配布(送付先が変更の際は必ずご連絡をください)
- ◎1級対象者:第6回検定試験合格者(認定番号08-で始まる方)
- ◎2級対象者:第1回検定試験合格者(認定番号03-で始まる方)※2回目の更新です。  
:第6回検定試験合格者(認定番号08-で始まる方)

- 1級資格取得者研修会 2014年2月20日(木)・21日(金)開催  
【1日目:セミナーほか充実のプログラム】20日(木)13:15~17:20  
「散骨は、すべきでない~埋葬の歴史から~」講師:長澤宏昌氏  
【2日目:視察研修(バスツアー)】21日(金)8:30~13:00  
東京都営小平霊園~花小金井ふれあいパーク
- 第11回検定試験 2015年1月下旬開催予定!  
現在、新テキストを作成中です。2014年6月発表・販売開始予定。

## 特集 消費税価格転嫁対策

2014年4月の消費税増税に伴い、中小企業にとっての難題が消費税の価格への転嫁問題です。禁止されている行為は以下の点です。

### 1. 交渉過程での禁止事項

- ①減額、買い叩き
- ②報復行為
- ③税抜き価格での交渉の拒否
- ④購入強制、役務の利用強制、不当な利益提供強制

### 2. 実質値引きでの禁止事項

実質的に値引きになる場合でも「消費税還元セール」などは表現できません。これについても今後の状況を見極める必要がありますが、「春の〇〇セール」のような表現であれば問題にならないと考えられます。



会計顧問 左:齊藤栄太郎先生 右:齊藤良夫先生

他方、有効な対策の1つとして、「価格カルテル」が認められています。ただし有効に機能させるためにはいくつかの前提条件があります。

- ①公正取引委員会に事前の届出が必要です。公取の認可を受けずカルテルを結ぶと独禁法違反に問われる可能性があります。日経新聞によれば、すでに日本産業・医療ガス協会が届出しており、清涼飲料工業会、豆腐製造、青果物中卸、ガソリンスタンド、印刷などの業界でも申請の動きがあるようです。
- ②業界団体の組織率があること。組織率が低いと、カルテルに加わらない同業者が増税分の転嫁をしないために転嫁が妨げられます。

### お知らせ

## 大手企業の食品偽装問題が報道される中、我々にもこのような事例があることを教訓にしてください。

「お墓なんでも相談フリーダイヤルにて…」先日、福島県にお住いの方から大島石で五輪塔を建立したが、本当に大島石なのか?という問合せがありました。詳しくお話を聞くと、販売した石材店が国産の“大島石”自体を知らずに販売したとのこと、事実確認の結果、この石材店は、取引先の商社から「中国大島」を紹介され、そのサンプルと見積りをお客様に提示し、了承されたので最終的に着工しました。その際の見積書に「大島」と記したそうですが契約書は作成しませんでした。

この相談依頼者がおかしいと感じたのは、あるとき他の業者から大島石ではないと言われたことからでした。

今回の相談は、販売した石材店が悪意をもって偽装販売したわけではありませんが、石種自体の知識が無い、または判別できない石材店が多く存在します。石に対して素人である消費者に対して、親切・丁寧な対応を行う…と言う気持ちがあれば、このようなクレームは防げたかもしれません。

どんな有名な石種でも県名(産地)や加工した場所をきちんと記載し、さらに契約書を交わし説明を重ねることもトラブルを未然に防ぐ対応策です。

これらトラブルを無くすためのひとつとして、協会員である採石業者、輸入業者へ決まった石種に限り産地証明書を発行しております。また産地証明書が発行されない場合においても消費者に対しては、知識と技術を備え、丁寧な商談を心掛けるようしてください。

### NEWS

## お墓にまつわるエピソード集 その二「お墓物語」

待望の第2弾が発行されました。会員の皆さまには先月配布いたしましたので、既にお読みいただいたことと思います。今回も力作ばかりで研修委員会も真剣に編集作業に没頭しました。お墓というキーワードからこんなにも純粋無垢な物語が生まれてくるのです。ぜひ、この感動をたくさんの方々にお伝えください。『お墓物語』は石産協会員限定発売です。ご注文お待ちしております。



### 編集後記 [広報委員会 一同]

## 謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

現在、広報委員会では一般消費者向けホームページ作成に取り組んでいます。消費者のお墓選びに役立つ、わかりやすく信頼のおけるホームページになるようがんばります。春にはオープンを予定していますので、楽しみにお待ちください。

石産協事務局【広報委員会】宛  
情報 E-mail office@japan-stone.org  
Fax. 03-3251-7681

お待ちしております  
おります!